

株式会社大阪屋ショップ 報告アジェンダ

1 大阪屋ショップの食品ロス削減の考え方

食品ロスは需要(お客様のニーズ)とのミスマッチ

食品ロスの削減は、お客さんのニーズに合わせて発注、製造することで実現する

2 大阪屋ショップの店舗等におけるロス削減対策

- ・ 惣菜部門 製造量にあわせた数量での材料の納品

3 納品期限緩和について

- ・ グロサリー納品期限緩和実施の経緯

当初より納品期限は賞味期限の2分の1経過以内

- ・ 納品期限緩和によりなにか問題が生じたか

(お客様の評価や客数/店舗の値引や廃棄/オペレーション面 etc.)

消費期限の切れた商品を販売することがある。

→店舗の売り場管理の問題と考えられる。

- ・ 商慣習改善・納品期限緩和についてのご意見

消費者の立場から実行しないと成功しないと思われる。

→買い手よし、売り手よし、世間よし

株式会社 大阪屋ショッポの紹介

株式会社大阪屋ショッポは、富山県富山市に本社を置くスーパーマーケットです。富山県33店舗、石川県6店舗の39店舗を運営しています。グループ会社では5店舗を運営しており、グループ全体で44店舗になります。

屋号「大阪屋ショッポ」の由来

屋号の「大阪屋ショッポ」は故平村文男会長が実父と富山市でスーパーマーケットを始めるときにつけられました。

故平村文男会長は高校卒業後、大阪船場の繊維問屋に就職されました。最初はなかなかうまくいかず苦労されたそうです。その後、富山の父親と一緒にスーパーマーケットを始めることとなり、屋号を『商売とは何かを教えてもらった大阪』から『大阪屋ショッポ』とつけられました。

大阪では、商品売る前に、お客様との心の触れ合いがいかに大切であるかを、身をもって学ばれたとのこと。